

# IN ACTION

川崎市市民ミュージアム インフォメーション

インアクション



特別付録「冷蔵庫マグネット」

FREE PAPER

Kawasaki City Museum Information 初回特別号 2024.2



Vol. 0

## 「IN ACTION」ってなに？

川崎市市民ミュージアムの活動をお届けするため、定期発行の広報誌「IN ACTION 川崎市市民ミュージアムインフォメーション」を新たに発行します。今回は初回特別号として、冷蔵庫マグネットの付録付き。今後は川崎市市民ミュージアムが行う展覧会やワークショップ、イベントの情報を中心に、年2回の発行を予定しています。

川崎市市民ミュージアムは、2019年の令和元年東日本台風で施設や設備、収蔵品が被災し、川崎市中原区等々力緑地内にある館（以後、旧川崎市市民ミュージアム）は休館を余儀なくされました。施設が休館する中、被災した収蔵品の応急処置や修復などのレスキュー活動を行うとともに、他の施設の展示スペースやオンラインを活用した展覧会、出張形式の教育普及活動などの博物館・美術館としての活動を継続。それは今も続いています。

「IN ACTION」とは「活動中」という意味です。川崎市市民ミュージアムとして活動している「今」が未来へとつながり、新たなミュージアムへの架け橋となっていく。そんな思いを込めています。川崎市市民ミュージアムと当広報誌を、どうぞよろしくお祈りします！



「第57回かわさき市美術展」作品搬入時の様子  
(2023年、ミュゼ川崎シンフォニーホール)



ワークショップ「ねんどでふえいくふぁー」  
(2023年、百合丘こども文化センター)

## こんにちは麻生区！引っ越してきました

2023年10月1日、川崎市市民ミュージアムは、事務機能および収蔵品レスキューの活動拠点を、麻生区の柿生に設置された仮設事務所に移しました。周辺ではちょうど柿の実がなっており、柿生という名のとおりだと、少し嬉しくなりました。

移転に伴い、旧川崎市市民ミュージアムの中庭に設置していた冷凍コンテナ3基、冷蔵コンテナ1基も一緒にお引っ越しすることになりました。このコンテナは、被災時に水に濡れてしまった収蔵品を「冷凍」または「冷蔵」して保管し、劣化やカビの進行を止めるために必要です。大型トラックで運ぶため、コンテナが傾かないように釣り上げ、トラックの上にピタリと乗せる技術には、職員から感嘆の声が上がりました。そうしてゆっくりとトラックが動き出し、無事に仮設事務所の敷地内に移動することができました。



仮設事務所の外観

展覧会やイベントは市内の様々な施設で行うため、この仮設事務所はあくまで活動の拠点。お客様が来場することはできませんが、新たなミュージアムが整備されるまで、ここから博物館・美術館活動を川崎市内に発信していきます。



コンテナ移動の様子

## ●展覧会担当に聞いてみた！

### 川崎市市民ミュージアム—誕生と軌跡—

これまで30年以上使ってきた川崎市市民ミュージアムの建物は、新たなミュージアムの整備に向けた検討が進んでおり、いずれその役目を終えることとなります。これを機に、市民ミュージアムの歩みそのものに焦点を当てた展示を開催します。

会場となる川崎市教育文化会館は、昭和42(1967)年に産業文化会館という名前で竣工した施設です。実はここには、かつて川崎市で初めての博物館が置かれていました。川崎市の歴史や民俗、考古のほか、川崎ゆかりの作家の作品も展示し、さらには57回目を迎えた「かわさき市美術展」も以前はここで開催されていたのです。

ここまで読んで気づいた方もいるかもしれませんが、昭和63(1988)年に開館した川崎市市民ミュージアムのルーツの一つは、ここにあったのです。古い建物が役目を終え、新たな施設の誕生に向けて進み始めた時に、原点に立ち返るという点で、教育文化会館ほどふさわしい施設はありません。(学芸員：鈴木勇一郎)



展示資料《建設中の川崎市市民ミュージアム》  
(1987年頃)

#### 【企画展】

#### 「川崎市市民ミュージアム—誕生と軌跡—」

会期：2024年2月18日(日)～3月5日(火) \*19日(月)は休室

開場時間：9:30～17:00(最終入場 16:45)

会場：川崎市教育文化会館(川崎区富士見2-1-3)

料金：無料

## ●オンライン上で現代美術に触れてみよう

### 折元立身 生活を感じる、おもしろい作品が生まれた。1946-2024

折元立身は川崎在住の現代美術家です。今回のオンライン展覧会では、半世紀にわたる作家の活動を紹介しますとともに、新作のパフォーマンス映像《ラーメンをかぶる》を公開します。パフォーマンスは2023年8月に旧川崎市市民ミュージアムの逍遙展示空間で行われました。本番に向けて、協力してくれるパフォーマーを集め、当日の朝は20杯分のラーメンを用意することとなりました。

本番は椅子に腰掛けた作家の合図で始まります。人々は息を呑んで、作家を見守りました。映像のなかで繰り広げられる光景は、見る人に様々な思いを抱かせることとなるでしょう。この実験的な試みを、ぜひオンライン展覧会でご覧いただきたいと思います。



パフォーマンス当日の折元立身(2023年)

#### 【オンライン展覧会】

#### 「折元立身 生活を感じる、おもしろい作品が生まれた。1946-2024」

開催期間：2024年3月1日(金)10:00～3月29日(金)15:00まで

市民ミュージアムWebページ内

「the 3rd Area of "C"—3つめのミュージアム—にて

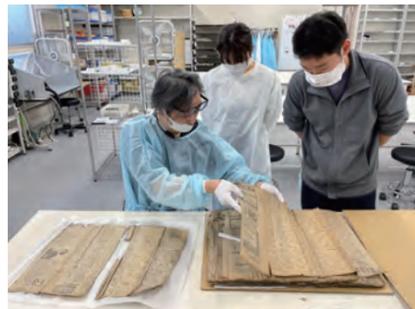
同ページにて他2つの展覧会も開催中(無料)



オンライン史跡めぐり「川崎宿 その跡をめぐる」  
撮影時の昼食(2023年)

#### \*その他のオンライン事業

「川崎市市民ミュージアム講座」では、4つの講座を配信中。新民謡による町おこしの歴史、古文書講座、日本の初期アニメーションの誕生、佐藤惣之助の人物像と功績、について紹介！他にも、史跡めぐり、セミナー、ミュージアムの建物を巡るツアーなどの動画も配信しています。市民ミュージアムのWebサイト「イベント」ページおよびYouTubeチャンネルをご覧ください。



紙資料レスキューの様子

## ●収蔵品レスキュー活動

### 新しい場所でどんなことを行っているの？

作業スペースが以前より小さくなり、使用していた棚や折りたたみコンテナ等の資材は、必要最低限の分量に減らしました。各作業室のレイアウトを工夫し、より良い作業環境を整えるために現在も試行錯誤を重ねています。

仮設事務所では、主に紙資料の応急処置を行っています。作業工程は、被災時に水に濡れたことでくっついてしまった資料を1枚ずつ分離・分解し、記録表に資料の情報と画像を入力する「解体」、水で資料を1枚ずつ洗う「洗浄」、資料を元の順番通りに重ねて封筒に収める「梱包」があります。解体や洗浄の作業で濡らした資料は、1枚ずつ並べて送風「乾燥」させています。資料の状態や素材によって処置の仕方は様々です。少しでも気になったり困ったりしたことがあれば、専門家や技術者にアドバイスをもらいながら、最善の方法を模索しています。

## みんなでつくろう！新たなミュージアム

新たなミュージアムの整備に向けて、川崎市は、2023年5月に事業展開の方向性や開設候補地(多摩区生田緑地ばら苑隣接区域)等を示した「新たなミュージアムに関する基本構想」を策定しました。現在は基本計画の検討を進めています。

検討状況はWebページをご覧ください。ぜひご意見をお寄せください。



こちらには付録として冷蔵庫マグネットを貼り付けておりました。冷蔵庫マグネットは、市内在住のイラストレーターとのコラボや収蔵品による3種を製作。うち1種を貼り付けしランダムで配布しました。

取り外す際は紙面とマグネットをゆっくりと引き剥がしてください  
\*転売禁止・複製不可  
\*無償提供のため返品・交換対応はいたしません

## 絵柄は3種類！あなたが手に取るのはどれ!?

### ●特別付録「冷蔵庫マグネット」

川崎市ゆかりの作家とのコラボと、市民ミュージアムの収蔵品によるオリジナルの「冷蔵庫マグネット」を制作。3種類のうち1種を添付しています。

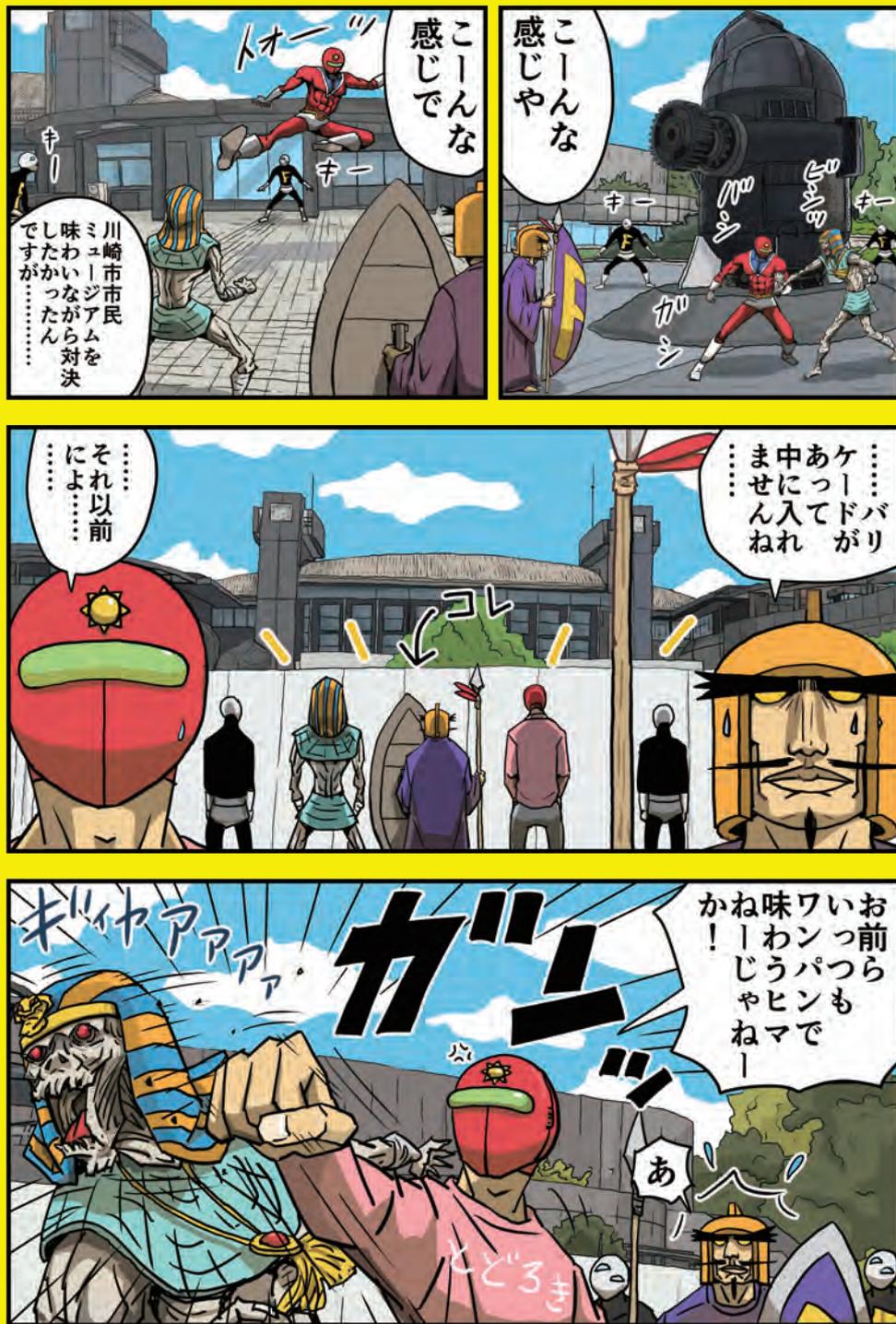
# 天体戦士サンレッドN × 川崎市市民ミュージアム コラボ版

「正義 対 悪 in川崎市市民ミュージアム！」  
作：くぼたまこと

漫画家くぼたまこと氏の代表作「天体戦士サンレッドN」との  
コラボ漫画の連載が、今はじまる——！

「天体戦士サンレッドN」とは、川崎市高津区あたりで繰り広げられる正義と悪の戦いの物語である！  
(しかし怪人たちと正義の味方は普段は川崎市民として生活をしている)

『ヤングガンガン』(スクウェア・エニックス)にて、2004年創刊号から2015年1号まで「天体戦士サンレッド」として連載された。  
続編の「天体戦士サンレッドN」を作者の自費出版で製作。2019年9月に電子書籍、2020年1月に書籍版を発売。



●想像の中で俺に戦闘服を着せるんじゃねえ! byサンレッド



サンレッド  
正義の味方なのに柄が悪い  
いつも普段着

「作者コメント」 こんにちは、くぼたまことです。サンレッドは10年連載して全20巻、アニメ化もして頂いた作品です。現在はサンレッドNとして復活しており、続刊の製作中です。神奈川が舞台の漫画ですので発売の際は何卒よろしくお願ひします。



ヴァンプ将軍  
悪の組織フロシャイムの将軍  
お人好し



カーメンマン  
フロシャイムのミイラ型の怪人



戦闘員1号2号  
ヴァンプと怪人たちの補佐役

無事に初回特別号をお届けできて安心してます。川崎市市民ミュージアムについて興味を持っていただけでしょうか。  
今回の表紙イラストには、旧川崎市市民ミュージアムの建物を上から見た時の「C」の形を取り入れていただきました。また、2色のCが博物館と美術館の2つの機能の複合という特徴を表しています。数字の「0」から始まった本誌はどこまで続いていくのでしょうか。そしてフロシャイムはいつになったらサンレッドを倒せるのでしょうか…。  
本誌製作にご協力いただいた方々、そして読んでくださった皆様に感謝です。それでは次号もお楽しみに!

## IN ACTION 川崎市市民ミュージアムインフォメーション 初回特別号

発行日：2024年2月6日  
発行：川崎市市民ミュージアム  
デザイン：一野篤  
表紙イラスト：椎木彩子  
漫画：くぼたまこと  
付録協力：オキ・ジュンコ、Naffy

川崎市市民ミュージアム  
〒215-0021 川崎市麻生区上麻生6-15-2  
Tel. 044 712 2800  
(土日祝・年末年始を除く8:30-17:15)  
Fax. 044 712 2804  
Mail: 25museum@city.kawasaki.jp



www.kawasaki-museum.jp



KAWASAKI CITY MUSEUM  
川崎市市民ミュージアム



COLORS  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th